

地理—地学基礎 クロスカリキュラム

～地学から見る火山地形～

5月23日(火)7限, **地理B(2年生)**の授業において, **地理(荒川教諭)**と**地学(小原教諭)**との**クロスカリキュラム授業**を展開しました。地理Bで学習する「火山地形」について, 溶岩の粘性と化学組成の視点から地学的解釈を加えていきました。

荒川教諭と小原教諭とが10分ごとに入れ替わって授業を主導し, 最終的には荒川教諭が地理の視点から授業のまとめを行いました。

(内容)

地理における「火山地形」についての既習事項について, 地学基礎の視点から確認・補足を行う。また, アクティブラーニングの視点から生徒の「思考の活性化」を強く意識する。

- ① 火山地形と溶岩(岩石)の化学組成との相関についての考察
- ② プレートテクトニクスから考える溶岩の粘性変化
- ③ 溶岩の粘性と火山災害との相関についての考察
- ④ 太陽系惑星における地球の岩石の特異性についての考察
- ⑤ 火山の恩恵 ～資源としての火山～

【参考】

下図は, 理数科2年の海外科学技術研修(SS-Field Study)におけるフィールドワークを考案する際にイメージしたリレーション・マップである。観察日時や場うになっている。複数の教科で修めた, 一見隔たった知識や経験を繋ぎ合わせることができたとき, 全く新しい描像が可能になることを, 本時をもって伝えたい

所が隔たっている幾つかの点をつないでいくと, 1つの「像」が浮かび上がると考えている。



